

# 竹の水鉄砲

## プログラムの概要・ねらい

身近な自然の素材である竹を使った水鉄砲を作る。自分だけのオリジナル作品を作ることで、創意工夫する喜びを体験する。また、竹の水鉄砲での遊びも体験することができる。

場所	クラフト室 実習室 ピロティ	
時間	1時間30分 ～2時間	
値段	料金表参照	
季節	年間	
人数	各部屋 席数48	

## 準備物

【利用者】ぞうきん、新聞紙、救急用品、活動に適した服装、(ポスカ、油性ペン)

【自然の家】材料 (竹2種類、輪ゴム、ウエス、スポンジ)、キリ、ハサミ、バケツ、針金

## ①準備

材料とクラフト室倉庫の鍵をサービスセンター受付にて受け取る。※材料数を確認する。  
窓を開け、部屋の換気を十分に行う。工具の確認をする。

## ②実施の流れ

### 【時間】

0:00

作り方の説明

①



0:10

本体用の太い竹の節の中央にキリで1箇所穴を開ける。(写真①)  
※万力を使う場合には、締めすぎ注意！(竹が割れる)



0:30

ピストン用の細い竹にスポンジを巻き付ける。(写真②)

②

- ・スポンジを引っ張りながら巻き付ける。
- ・本体の竹の筒にさして、ピッタリになるくらいまでスポンジを巻き、余った部分は切る。
- ・スポンジを輪ゴムで固定する。(写真③)
- ・スポンジを巻いたピストン用の竹に上からウエスをかぶせ、輪ゴムを巻きつけて固定する。(写真④)



※輪ゴムの結び目は、ウエスの一番下にするとよい。

③

0:50

バケツに水を入れて水の出具合を確認する。(写真⑤)

④



- ・水が漏れたり、ピストン用の竹が入らない場合には、スポンジの巻き具合を調整していく。

※スポンジが竹筒の中で取れてしまう場合があるので気を付ける。  
取れてしまった時は、針金でつづいて取り出すようする。



### 【応用】

ポスカや油性ペンで絵や文字を書いてもよい。

※ポスカや油性ペンを使用する場合は、机の上に新聞紙を敷く。

1:20

片付け

1:30

終了

※作成後、野外活動ゾーンや自然環境学習センター中庭等で、遊ぶこともできる。

次ページへ ↗

## ②実施の流れ(つづき)

### 【作った竹の水鉄砲活用方法例】

自然環境学習センター中庭・ピロティー・野外活動ゾーンなどを使い竹の水鉄砲で遊ぶこともできる。

- ・的置き場：クラフト室

※数に限りがあるため、必要に応じて持参ください

### <フラッグ戦>

#### [ルール]

- ・2つのチームに分かれて、それぞれの陣地にフラッグ（目印）を立てます。

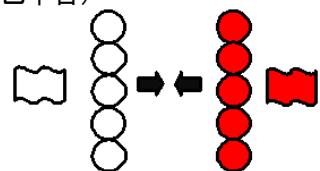
勝利条件：相手チームのフラッグを獲得・敵チームの全滅

敗北条件：敵にフラッグを取られる・チームの全滅

- ・水がかかったら大きな声で「ヒット」言い、フィールドから出る。（自己申告）

※移動の際には、他の人の邪魔をしないようすみやかに移動する。

- ・水がかかっているのに、ゲームを続行することは禁止。



### <センターフラッグ戦>

#### [ルール]

- ・2つのチームに分かれて、フィールドの中央に缶フラッグ（目印）を横にして置く。

スタートの合図で両チームは、中央の缶フラッグを自陣の色が上になるように立てる。

制限時間内に、より多くの缶フラッグを自陣の色にしたチームの勝利。

※勝利条件：制限時間内に、より多くの缶フラッグを自陣の色にする。

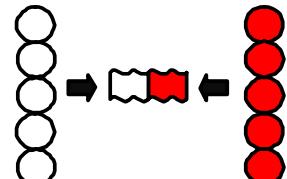
- ・制限時間は、5~10分を目安に行う。必ず5~10分休憩をいれる。

- ・水がかかったら大きな声で「ヒット」宣言し自陣へ戻る。仲間とハイタッチで復活。

※仲間とハイタッチするまでは動けません。

※他の人の邪魔にならないようすみやかに移動する。

- ・水がかかっているのに、ゲームを続行することは禁止。（ゾンビ行為）



## ③後片付け

工具等を元へ戻し、ぞうきんと備え付けの掃除用具を使い、掃除をする。**※机と床の水拭きを必ず行う。**

(掃除の仕方についてはクラフト室の掲示参照)

工具、部屋等の破損があった場合は、サービスセンター受付へ連絡する。

クラフト室の鍵、余った材料はサービスセンター受付へ返却する。